

## 平成18年度科学技術振興調整費の審査経緯及び結果概要について

平成18年5月23日  
文部科学省

### 1. 審査経緯

#### (1) 公募の実施

平成18年度科学技術振興調整費について、平成17年12月27日～平成18年2月24日の期間において、公募を実施した。

#### (2) 審査の実施

文部科学省（科学技術振興調整費審査部会）が審査要領を決定した上で審査を実施した。

#### 第1回審査部会（平成18年1月31日）：審査方法・WG構成の決定

##### WGにおける審査（3月23日～4月21日）

- ・WG委員による書面審査
- ・第1回WGにおいて書面審査結果のとりまとめ、ヒアリング対象課題の抽出
- ・第2回WGにおいてヒアリングの実施、採択候補課題の選定

#### 第2回審査部会（4月27日）：採択課題の決定

#### 総合科学技術会議大臣・有識者議員会合（5月18日）：採択課題の確認

#### 総合科学技術会議本会議（5月23日）：採択課題の確認の報告 (終了後プレス公表)

## 2. 審査結果概要

プログラム名	提案件数	ヒアリング件数	採択予定件数
科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進			
テーマ1: ポストゲノム・健康科学の推進 - 課題1 持続的植物生産のための生物間相互作用の解析研究	3	3	0
テーマ2: 新興・再興感染症 課題2 高度安全実験(BSL-4)施設を必要とする新興感染症対策に関する調査研究	1	1	1
テーマ3: ユビキタスネットワーク - 電子タグ技術等の展開 - 課題3 ユビキタスネットワークの斬新な利活用研究・検証	11	4	1
テーマ4: 次世代ロボット - 共通プラットフォーム技術の確立 - 課題4-1 室内外を移動する人にサービスを提供するための環境情報構造化プロジェクト 課題4-2 作業空間における物体操作のための環境情報構造化プロジェクト	5	3	1
テーマ5: バイオマス利活用 課題5 バイオマス利活用事業に関する持続可能性評価手法の開発	7	2	1
テーマ6: 水素利用 / 燃料電池 (公募対象課題なし)	10	3	1
テーマ7: ナノテクノロジー 課題7-1 分子イメージングによるナノ・ドラッグ・デリバリー・システム 課題7-2 ナノバイオセンサ	15	4	1
テーマ8: 地域科学技術クラスター (公募対象課題なし)	13	6	2
重要課題解決型研究等の推進			
(1) 重要課題解決型研究 知の創造と活用により世界に貢献できる国の実現			
課題1-1 科学技術情報の国際的流通促進に関する研究開発	1	1	1
課題1-2 地下構造の統合化データベースの構築 国際競争力があり持続的発展ができる国の実現	2	2	1
課題2-1 デジタルコンテンツ創造等のための研究開発	11	3	1
課題2-2 持続可能な流域圏環境管理技術の開発 安全・安心で質の高い生活のできる国の実現	22	4	1
課題3-1 国民の健康障害に関する研究開発	36	2	1
課題3-2 情報セキュリティに資する研究開発	8	3	2
課題3-3 國際テロ・犯罪からの安全を確保する先端科学技術研究	11	3	1
課題3-4 減災対策技術の研究開発	22	3	1
課題3-5 人工降雨を中心とした渇水対策に関する研究	2	2	1
(2) 科学技術政策に必要な調査研究			
課題1 ライフサイエンスやナノテクノロジー等の先端科学技術が社会に与える影響の調査研究	6	3	2
課題2 統合・代替医療の科学的評価手法の調査研究	17	6	4
若手研究者の自立的研究環境整備促進	41	15	9
女性研究者支援モデル育成	36	17	10
先端融合領域イノベーション創出拠点の形成	46	22	15
地域再生人材創出拠点の形成	72	15	10
アジア科学技術協力の戦略的推進			
(1)機動的国際交流 (2)地域共通課題解決型国際共同研究	27 126	4 16	1 10
合計	551	147	79

### 3. 今後のスケジュール

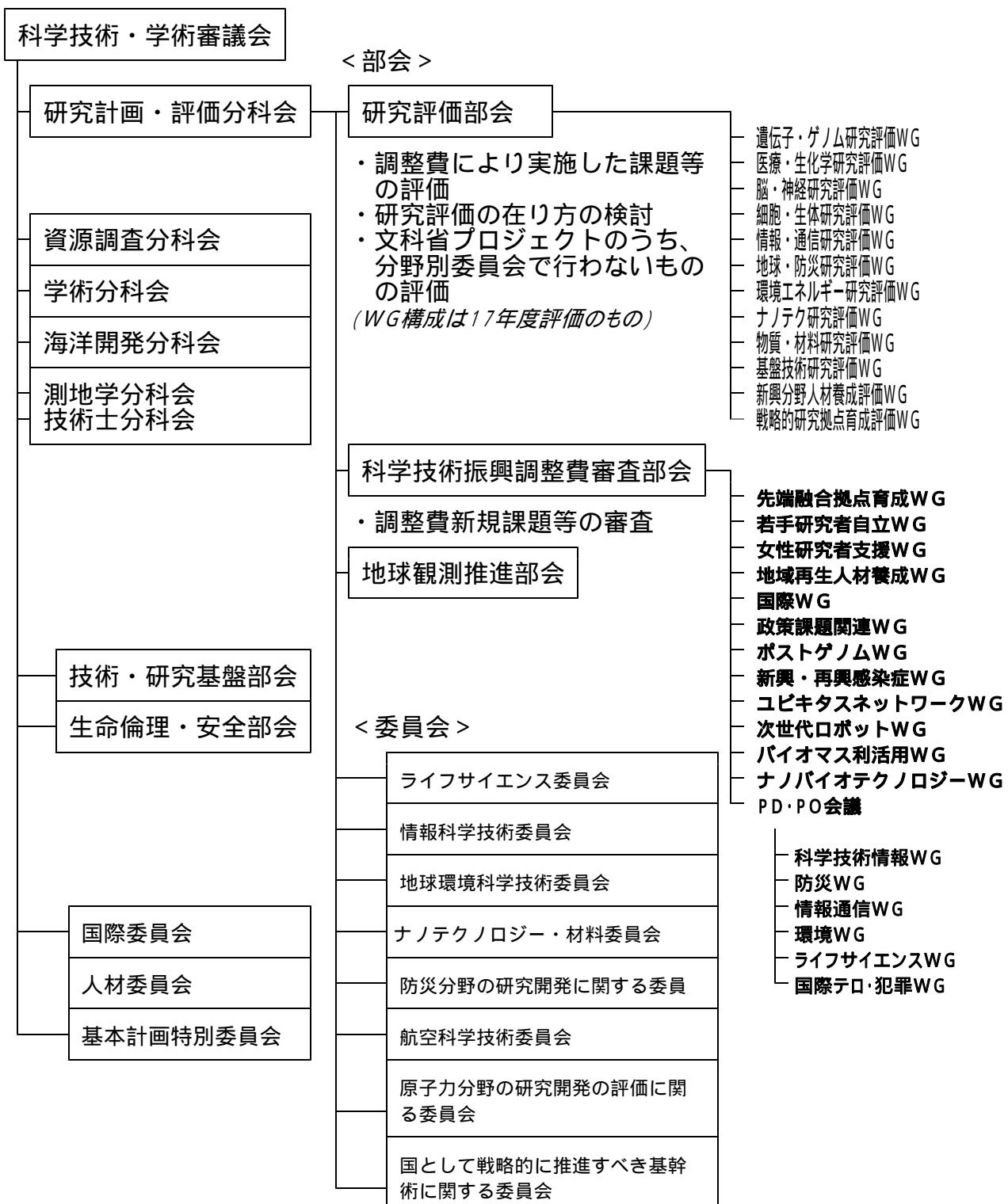
プレス公表(5月23日総合科学技術会議本会議終了後)

財務省協議(5月下旬～6月)

新規課題の実施(7月)

# 科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会

## 科学技術振興調整費審査部会について



注1 . 部会 - 議決権を有する。(審議案件が終了すれば原則廃止)

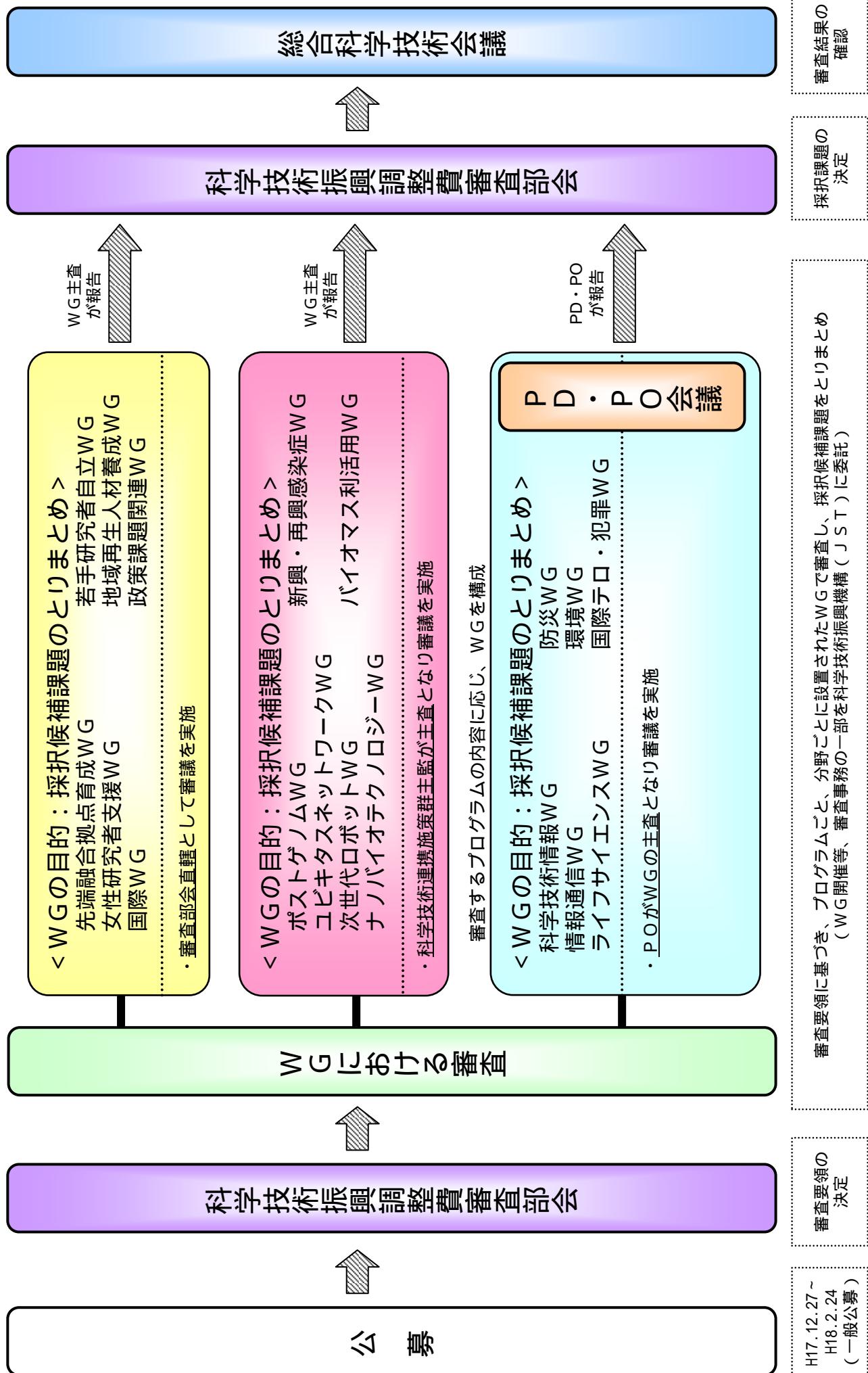
定常的な業務があるため頻繁な開催を要するもの

情勢変化が急なため、迅速かつ適時的確な方針提示、評価等が求められるもの

委員会 - 議決権を有しない。(審議案件が終了すれば原則廃止)

注2 . 上記以外でも必要に応じて委員会等を隨時設置。

平成18年度科学技術振興調整費の審査の進め方について



## 「重要課題解決型研究等の推進」採択課題一覧

国家的、社会的に重要な政策課題であって、単独の府省では対処が困難であり、政府として速やかに取り組むべき課題について、産学官の複数の研究機関による総合的な推進体制の下で、具体的な達成目標を設定し研究開発を推進する。また、科学技術政策に必要な調査研究を実施する。

### (1) 重要課題解決型研究

知の創造と活用により世界に貢献できる国実現

#### (課題1 - 1 科学技術情報の国際的流通促進に関する研究開発)

提案課題名	研究代表者	参画機関
日中・中日言語処理技術の開発研究	井佐原 均 (独)情報通信研究機構 情報通信部門自然言語グループ グループリーダー	東京大学、京都大学、静岡大学、(独) 科学技術振興機構

#### (課題1 - 2 地下構造の統合化データベースの構築)

提案課題名	研究代表者	参画機関
統合化地下構造データベースの構築	藤原 広行 (独)防災科学技術研究所 特定プロジェクトセンター プロジェクトディレクター	(独)産業技術総合研究所研、(独)土木研究所、東京工業大学、東京大学、 地盤工学会

国際競争力があり持続的発展ができる国実現

#### (課題2 - 1 デジタルコンテンツ創造等のための研究開発)

提案課題名	研究代表者	参画機関
新映像技術ダイブイントゥザムービーの研究	森島 繁生 早稲田大学 理工学部・応用物理学科 教授	大阪大学、(株)国際電気通信基礎技術研究所、京都大学

#### (課題2 - 2 持続可能な流域圏環境管理技術の開発)

提案課題名	研究代表者	参画機関
伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発	辻本 哲郎 名古屋大学 社会研究基盤工学専攻 教授	国土技術総合研究所、国立環境研究所、土木研究所、農村工学研究所、水産工学研究所、養殖研究所

安全・安心で質の高い生活のできる国実現

(課題3-1 国民の健康障害に関する研究開発)

提案課題名	研究代表者	参画機関
アスベスト関連疾患の総括的取り組み	大槻 剛巳 川崎医科大学 衛生学教授	兵庫医科大学、兵庫県立成人病センター、愛知県がんセンター、京都大学

(課題3-2 情報セキュリティに資する研究開発)

提案課題名	研究代表者	参画機関
組込みシステム向け情報セキュリティ技術	柴山 悅哉 (独)産業技術総合研究所 情報セキュリティセンターソフトウェアセキュリティ研究チーム 副研究チーム長	東京大学、筑波大学、横浜国立大学、情報処理推進機構、東京理科大学、情報通信研究機構、東北大学、三菱総合研究所
高セキュリティ機能を実現する次世代OS環境の開発	加藤 和彦 筑波大学 大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻教授	東京大学、豊田高専、慶應義塾大学、東京工業大学、奈良先端科学技術大学院大学、電気通信大学

(課題3-3 國際テロ・犯罪からの安全を確保する先端科学技術研)

提案課題名	研究代表者	参画機関
生物化学テロにおける効果的な除染法の開発	瀬戸 康雄 科学警察研究所 法科学第三部化学第四研究室 室長	産業技術総合研究所、名古屋大学、関東学院大学、佐賀県窯業技術センター、GLサイエンス、アクティスカンパニー

(課題3-4 減災対策技術の研究開発)

提案課題名	研究代表者	参画機関
先端技術を用いた動的土砂管理と沿岸防災	青木 伸一 豊橋技術科学大学 工学部 教授	東京大学、本多電子株式会社、浜松エトニクス(株)、(財)土木研究センター、浜松市

(課題3-5 人工降雨を中心とした渴水対策に関する研究)

提案課題名	研究代表者	参画機関
渴水対策のための人工降雨・降雪に関する総合的研究	村上 正隆 気象庁気象研究所 物理気象研究部 第一研究室 室長	情報通信研究機構、防災科学技術研究所、京都大学、東北大学、日本気象協会、国土環境、三菱特機

(2)科学技術政策に必要な調査研究

(課題1 ライフサイエンスやナノテクノロジー等の先端科学技術が社会に与える影響の調査研究)

提 案 課 題 名	研究代表者	参画機関
ナノテクノロジー影響の多領域専門家パネル	原田 幸明 (独)物質・材料研究機構 エコマテリアル研究センター センター長	国立医薬品食品衛生研究所、国立環境研究所、名古屋大学
遺伝子診断の脱医療・市場化が来る倫理 社会的課題	高田 史男 北里大学 大学院医療系 研究科 助教授	バイオインダストリー協会、信州大学、 国立循環器病センター

(課題2 統合・代替医療の科学的評価手法の調査研究)

提 案 課 題 名	研究代表者	参画機関
鍼灸・漢方の疾患予防効果を中心とする評 価手法の開発・確立	仁田 新一 東北大学 加齢医学研究 所 教授	京都大学、名古屋大学、明治鍼灸大 学、慶應義塾大学
機能性食品等の迅速な科学的評価法の開 発	正山 征洋 九州大学 大学院薬学研 究院 薬用資源制御学 教授	長崎国際大学、大阪バイオサイエンス 研究所
統合医療の科学的評価法開発と臨床指針 作成	森 和 鈴鹿医療科学大学 鍼灸 学部 学部長	東北大学、朝日大学、大阪大学、三重 大学
整体の分子作用と科学的評価法の開発	野田 政樹 東京医科歯科大学 難治 疾患研究所・分子薬理学 教授	-

## 「科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進」採択課題一覧

各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、科学技術連携施策群（以下「連携施策群」という。）について、総合科学技術会議のイニシアティブの下にコーディネーター等を配置し不必要な重複の排除、連携の強化等の各施策間の調整を推進する。その上で補完的に実施すべき研究開発課題について内容・達成目標等を具体的に設定して推進する。

### テーマ1：ポストゲノム - 健康科学の推進 -

(課題1 持続的植物生産のための生物間相互作用の解析研究)

提案課題名	研究代表者	参画機関
(該当課題なし)		

### テーマ2：新興・再興感染症

(課題2 高度安全実験(BSL-4)施設を必要とする新興感染症対策に関する調査研究)

提案課題名	研究代表者	参画機関
BSL-4施設を必要とする新興感染症対策	倉根 一郎 国立感染症研究所・部長	(国)北海道大学、(国)東京大学、(独)動物衛生研究所、科学警察研究所、(国)長崎大学、(国)大阪大学、順天堂大学

### テーマ3：ユビキタスネットワーク - 電子タグ技術等の展開 -

(課題3：ユビキタスネットワークの斬新な利活用研究・実証)

提案課題名	研究代表者	参画機関
電子タグを利用した測位と安全・安心の確保	瀬崎 薫 東京大学 空間情報科学研究所センター 助教授	国土地理院、(独)情報通信研究機構、消防庁、科学警察研究所

### テーマ4：次世代ロボット - 共通プラットフォーム技術の確立 -

(課題4-1 室内外を移動する人にサービスを提供するための環境情報構造化プロジェクト)

提案課題名	研究代表者	参画機関
施設内外の人計測と環境情報構造化の研究	萩田 紀博 (株)国際電気通信基礎技術研究所 知能ロボティクス研究所 所長	(独)情報通信研究機構

(課題4-2 作業空間における物体操作のための環境情報構造化プロジェクト)

提案課題名	研究代表者	参画機関
環境と作業構造のユニバーサルデザイン	大場 光太郎 (独)産業技術総合研究所 知能システム研究部門 グループ長	測位衛星技術(株)、(国)東京大学、(株)東芝

## テーマ5：バイオマス利活用

(課題5 バイオマス利活用事業に関する持続可能性評価手法の開発)

提案課題名	研究代表者	参画機関
地域完結型地燃料システムの構築と運営	五十嵐 泰夫 東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授	(国)山梨大学、(株)総合環境研究所

## テーマ7：ナノテクノロジー

(課題7-1 分子イメージングによるナノ・ドラッグ・デリバリー・システムの支援)

提案課題名	研究代表者	参画機関
1 遺伝子可視化法による遺伝子ベクター創製	原島 秀吉 北海道大学 大学院薬学研究科 教授	(独)産業技術総合研究所、(国)北陸先端科学技術大学院大学、第一製薬(株)、(国)東京大学

(課題7-2 ナノバイオセンサ)

提案課題名	研究代表者	参画機関
生体内分子を可視化するナノセンサ分子開発	菊地 和也 大阪大学 大学院工学研究科 生命先端工学専攻教授	(株)三菱化学生命科学研究所、三菱ウェルファーマ(株)、(公)自治医科大学
精密構造識別型の電気・光応答バイオセンサ	井上 将彦 (国)富山大学 薬学部 教授	田中貴金属工業(株)

## 「若手研究者の自立的研究環境整備促進」採択課題一覧

世界で戦える研究者を育成するため、若手研究者の自立のための環境整備に組織的に取り組んでいる研究機関がテニュア・トラックを導入する取組を支援することにより、活力ある環境整備の形成を目指す。

提 案 課 題 名	機 関 名	代表者名
グローバル若手研究者フロンティア研究拠点	大阪大学 大学院工学研究科	豊田 政男
フロントランナー養成プログラム	東京工業大学	相澤 益男
新領域を開拓する独創的人材の飛躍システム	京都大学	尾池 和夫
名大高等研究院研究者育成特別プログラム	名古屋大学	平野 真一
若手人材育成拠点の設置と人事制度改革	東京農工大学	小畠 秀文
先進融合領域フロンティアプログラム	東北大学	吉本 高志
メディカル・トップトラック制度の確立	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	野田 政樹
ナノテク・材料研究者育成の人材システム	北陸先端科学技術大学院大学	潮田 資勝
次世代研究スーパースター養成プログラム	九州大学	梶山 千里

## 「女性研究者支援モデル育成」採択課題一覧

優れた女性研究者がその能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として女性研究者が研究と出産・育児等を両立するための支援を行う仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援する。

提案課題名	機関名	代表者名
保育とワ - クシェアによる女性医学研究者支援	東京女子医科大学	高倉 公朋
地域連携によるキャリアパス環境整備	熊本大学	崎元 達郎
女性研究者の包括的支援「京都大学モデル」	京都大学	尾池 和夫
理系女性のエンパワ - メントプログラム	東京農工大学	小畠 秀文
女性研究者マルチキャリアパス支援モデル	日本女子大学	後藤 祥子
杜の都女性科学者ハードリング支援事業	東北大学	吉本 高志
研究者養成のための男女平等プラン	早稲田大学	白井 克彦
生涯にわたる女性研究者共助システムの構築	奈良女子大学	久米 健次
女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築	お茶の水女子大学	郷 通子
輝け、女性研究者！活かす・育てる・支える プラン in 北大	北海道大学	中村 瞳男

## 「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」採択課題一覧

イノベーションの創出を可能とし、次世代を担う研究者・技術者を育成する機能を備えたシステムを実現することを通じ、10~15年後に新たな産業の芽となる先端技術を確立するため、実用化を見据えた基礎的段階から、産学が協働して先端融合領域における研究開発を推進

### [採択]

提 案 課 題 名	提 案 機 閣	共 同 機 閣
	総 括 責 任 者	
生体ゆらぎに学ぶ知的人工物と情報システム	大阪大学	オムロン(株)、日本電子(株)、日本電信電話(株)、ニプロ(株)、松下電器産業(株)、三菱重工業(株)
	宮原 秀夫	
高次生体イメージング先端テクノハブ	京都大学	キャノン(株)
	尾池 和夫	
少子高齢社会と人を支えるIRT基盤の創出	東京大学	トヨタ自動車(株)、オリンパス(株)、(株)セガ、凸版印刷(株)、(株)富士通研究所、松下電器産業(株)、三菱重工業(株)
	小宮山 宏	
ナノ量子情報エレクトロニクス連携研究拠点	東京大学	シャープ(株)、日本電気(株)、(株)日立製作所、(株)富士通研究所
	小宮山 宏	
ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成	岡山大学	日東电工テクニカルコーポレーション、(株)林原生物化学研究所、イーピーエス(株)、タカイ医科工業(株)、オンコリスバイオファーマ(株)、(株)ピークル、(株)バイオサイエンスリンク
	千葉 喬三	
分析・診断医工学による予防早期医療の創成	名古屋大学	日本ガイシ(株)、オリンパス(株)、富士通(株)、伊藤忠商事(株)
	平野 真一	
未来創薬・医療イノベーション拠点形成	北海道大学	塩野義製薬(株)、(株)日立製作所
	中村 瞳男	
半導体・バイオ融合集積化技術の構築	広島大学	エルピーダメモリ(株)
	牟田 泰三	
再生医療本格化のための最先端技術融合拠点	東京女子医科大学	大日本印刷(株)、(株)セルシード
	高倉 公朋	

**【採択(FS)】**

提 案 課 題 名	機 関 名	代 表 者 名
ナノ・マイクロ - ものづくり - ITの融合領域	東北大学	吉本 高志
先端融合医療レドックスナビ研究連合拠点	九州大学	梶山 千里
次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点	京都大学	尾池 和夫
安全安心思いやり先端医療産業基盤の創出	東京大学	小宮山 宏
原子・分子機能の多次元包括デザイン拠点	信州大学	小宮山 淳
「光医療産業バレー」拠点創出	(独) 日本原子力研究開発機構	殿塚 獣一

## 「地域再生人材創出拠点の形成」採択課題一覧

地域の大学と地元自治体が密接に連携し、大学が有する個性・特色を活かし、将来的な地域産業の活性化や地域の社会ニーズの解決に向けた、科学技術を活用した地域再生のための人材を創出する。

提案課題名	機関名	代表者名
FPD関連次世代型技術者養成ユニット	八戸工業大学	庄谷 征美
次世代金型人材育成拠点の形成	岐阜大学	三輪 實
伝統技能と科学技術の融合による先進的ものづくりのための人材育成	京都工芸繊維大学	江島 義道
はままつデジタル・マイスター - (HDM) 育成プログラム	静岡大学工学部	中村 高遠
かごしまルネッサンスアカデミー	鹿児島大学	永田 行博
『食農の匠』育成プログラム	山形大学大学院理工学研究科	小山 清人
新時代工学的農業クリエーター人材創出プラン	北見工業大学地域共同研究センター	高橋 修平
ワイン人材生涯養成拠点	山梨大学	貫井 英明
先進・実践結合型IT産業人材養成	琉球大学地域共同研究センター	照屋 輝一
近江環人地域再生学座	滋賀県立大学	曾我 直弘

## 「アジア科学技術協力の戦略的推進」採択課題一覧

アジア諸国、特に中国、韓国、インドやASEAN諸国とのオープンで対等なパートナーシップを拡げることにより、我が国が地域の科学技術の発展を先導する。特に、地域共通課題の解決やグローバルな問題に対するアジアとしての貢献（環境・エネルギー、防災、感染症等）、アジア地域発の科学技術の創出とこれらの分野を得意とする科学技術人材層の蓄積を通じて、アジア地域の優位性の確保を図る。

### (1) 機動的国際交流

提案課題名	機関名	代表者名
アジア科学技術コミュニティ形成戦略	(独)日本学術振興会	小野 元之

### (2) 地域共通課題解決型国際共同研究

#### 1 - 1 自然災害への対応に資する防災科学技術分野の研究開発

提案課題名	代表者	
	氏名	所属・役職
アジア防災科学技術情報基盤の形成	亀田 弘行	(独)防災科学技術研究所 客員研究員
地震防災に関するネットワーク型共同研究	榎府 龍雄	(独)建築研究所 国際協力審議役

#### 1 - 2 感染症対策に資する研究開発

提案課題名	代表者	
	氏名	所属・役職
真菌症原因菌の疫学的研究と真菌症対策拠点形成	三上 裕	千葉大学 真菌医学研究センター センター長
アジアにおけるレプトスピラ感染症対策ネットワーク構築のための初動研究	吉田 真一	九州大学大学院 医学研究院 教授

## 2 - 1 持続可能な発展のための環境・エネルギー技術の開発

提 案 課 題 名	代 表 者	
	氏 名	所 属・役 職
東シナ海有害赤潮の日中韓国際連携研究	松岡 敦充	長崎大学 環東シナ海海洋環境資源研究センター センター長
バイオウェイストのリファイナリー型資源化	長谷川 達也	名古屋大学 エコトピア科学研究所 教授
環境にやさしい水質浄化技術の研究開発	藤嶋 昭	(財)神奈川科学技術アカデミー 理事長・光科学重点研究室長

## 2 - 2 情報通信分野等におけるアジア発の国際標準の創出

提 案 課 題 名	代 表 者	
	氏 名	所 属・役 職
ユビキタス情報社会を支える通信基盤技術	安元 清俊	九州大学大学院 システム情報科学研究院 教授
アジア言語の壁の克服にむけた音声翻訳共通基盤の構築	中村 哲	(株)国際電気通信基礎技術研究所 音声言語コミュニケーション研究所 所長

## 3 その他

提 案 課 題 名	代 表 者	
	氏 名	所 属・役 職
東南アジア物造り産業バイオ研究拠点の形成	仁平 卓也	大阪大学 生物工学国際交流センター 教授